

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		災害時は地域の人との協力が不可欠の為、地域との連携協力体制の検討が望まれる。	グループホーム、小規模多機能合同での運営推進会議を開催する。	家族代表、地域代表、行政の参加をお願いして、ホームの状況をより知って頂き、災害時の地域の人との協力を改めてお願いする。	ヶ月
2		個々の能力に応じてお手伝いをお願いしているが、厨房やホールの狭さも関わりの少ない一因となり、食事を積極的に楽しむ事ができていない。	食事の時間がもっと楽しいものになる様な、雰囲気作りをすると共に参加出来る場面を増やしていく。	・現在のトレイから、個々に好きな色のランチオンマットに変更する。(朝食時は職員1名なので今迄通りにする。) ・喫茶の日(月に1回)は、参加できる様なおかし作りを考える。	3ヶ月
3		利用者と職員が共に食事する事ができていない。	可能な人数で利用者様と一緒に昼食を摂る。	職員は交代で食事をするので、最初に休憩に入る者と早出(A番)の者2名が利用者様と共に昼食を摂る。	1ヶ月
4		これまで以上に本人の思いや意向を把握して、その人らしい暮らしが続けられる様に支援して介護プランに反映させていく事が大切である。	一人一人の生を支え、その人らしい暮らしが続けられる様により一層本人の思いや意向を把握しプランに反映させ、生活の豊かさを求めていく。	ALD中心になりがちなアセスメントから、個々の思いや意向を把握する為にセンター方式を活用したアセスメントを行う。まず1名から実施する。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。